

2008年（平成20年）の日本の天候（速報）

本資料は、全国153地点の气象台・測候所などにおける12月20日までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。確定値による資料は平成21年1月5日に発表します。

2008年（平成20年）の日本の天候の特徴：

○年平均気温は全国的に高い

年平均気温平年差は北日本+0.6℃、東日本+0.6℃、西日本+0.5℃、沖縄・奄美+0.4℃で、全国的に高かった。

○年降水量は東日本日本海側、北日本でかなり少ない

東日本日本海側や北日本では、冬（平成19年12月～平成20年2月）の降雪量が少なかったこと、春や秋に雨が少なかったことから、年降水量がかなり少なかった。

○年間日照時間は全国的に平年並

全国的に寡照の時期、多照の時期と変動が大きかったが、年を通すと平年並のところが多かった。

○日本海側の降雪量は少ない

2月前半までは降雪量が少なかったことから、冬の日本海側の降雪量は少なかった。特に北・東日本日本海側ではかなり少なかった。

○各地で局地的な大雨がたびたび発生

6月には梅雨前線により九州などで、7、8月には、上空の寒気や湿った気流などにより、各地で局地的な大雨がたびたび発生した。特に、「平成20年8月末豪雨」により、中国地方から東北地方にかけての広い範囲で家屋の浸水など大きな被害が出た。

○東、西日本では夏季に高温・少雨

梅雨の明けた7月には、局地的な大雨はあったものの、東日本、西日本では降水量はかなり少なく、気温もかなり高かった。

○地域差の大きかった梅雨入り、梅雨明け

梅雨入りは、沖縄・奄美と東北地方ではかなり遅く、東日本と西日本ではかなり早かった。梅雨明けは早いところが多かったが、北陸地方と東北南部ではかなり遅かった。

○台風の発生数、接近数、上陸数は平年を下回る

年間の台風発生数は22個（平年26.7個）、日本への接近数は9個（平年10.8個）、上陸数は0個（平年2.6個）といずれも平年を下回った。沖縄・奄美では6個の台風が接近し、暴風雨に見舞われた。

※「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1971～2000年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現する。

1 概況

1月半ばまでは低気圧や高気圧が交互にとおり、天気は数日の周期で変わり、気温も高かったが、1月後半以降は冬型の気圧配置が現われやすくなり、寒気が入るようになった。北日本から西日本にかけての冬（平成19年12月～平成20年2月）の平均気温は平年並であったが、冬前半の気温は平年を上回ることが、後半は平年を下回ることが多いなど寒暖の変動が大きかった。沖縄・奄美でも気温の変動が大きかったが、1月の高温が顕著であったことから冬の平均気温は高くなった。冬前半を中心に、低気圧や前線が日本付近を数日の周期で通過したことから、全国的に曇りや雨または雪となり、西日本で冬の降水量が多くなったほか、全国的に日照時間が少なかった。低気圧は日本付近を通過した後もあまり発達しなかったことから、冬型の気圧配置とはなりにくく、東日本日本海側、北日本では降水量も少なかった。2月中・下旬には、冬型の気圧配置にともなって日本海側の地方では降雪量が増えたが、2月上旬までに降雪が少なかったことから、冬の降雪量は少なかった。

春は、北日本から西日本にかけては、寒気の影響を受けにくく、春の平均気温は高く、北日本、東日本ではかなり高かった。5月は気温の変動が大きかったが、3月は移動性高気圧に覆われて晴れる日が多く、高温が顕著であった。本州南岸を東進した低気圧の影響をしばしば受けた東日本太平洋側で春の降水量がかなり多く、低気圧や寒気の影響が小さかった北・東日本日本海側ではかなり少なかった。また、西日本では、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多く、西日本太平洋側では春の日照時間がかなり多くなった。

夏の天候は、北日本から西日本にかけて変動が大きかった。東日本と西日本では、6月には曇りや雨の日が多く、7月から8月前半にかけては晴れて暑い日が多く、降水量も少なかった。北日本では、6月は晴れの日が多く、7月には曇りや雨の日が多く、対照的な天候となった。また、気温も、7月には高温、8月後半には低温となるなど変動が大きかった。7月後半から8月前半には大気の状態が不安定となって、局地的に大雨となった。8月終わりには、上空の寒気や、低気圧、前線の影響で、北日本から西日本にかけて、広い範囲で記録的な大雨となり、また、各地で局地的な豪雨となった（「平成20年8月末豪雨」）。このため、河川のはん濫や家屋の浸水、土砂災害等大きな被害が発生した。沖縄・奄美では、梅雨明け後は高気圧に覆われ、熱帯低気圧の影響も小さかったため、夏の平均気温は高く、夏の降水量は少なかった。

11月には寒暖の変動が大きかったものの、9月と10月に気温が高かったことから全国的に秋平均気温は高かった。北日本では、高気圧に覆われ晴れる日が多かったため、秋の日照時間が多く、降水量がかなり少なかった。特に北日本太平洋側では、1946年以降秋としては第1位の少雨となった。低気圧や前線は本州の南岸をあまり発達せず通過することが多く、西日本太平洋側で日照時間が少なく、西日本日本海側と東日本太平洋側では降水量が少なかった。特に、九州では日照時間がかなり少なかった。沖縄・奄美では前線や低気圧、台風の影響を受け、日照時間が少なく、降水量がかなり多かった。特に、9月中旬の台風第13号の接近により、与那国島では日降水量765.0ミリを記録するなど記録的な大雨となった。

2 気温、降水量、日照時間等の気候統計値

(12月20日までのデータによる)

(1) 平均気温

年平均気温は、全国的に高かった。

(2) 降水量

年降水量は、北日本と東日本日本海側でかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。特に北海道では平年の80%未満となったところが多く、60%未満となったところもあった。北見枝幸、紋別、雄武、帯広（以上、北海道）、むつ（青森県）、輪島（石川県）では、12月20日までの降水量の平年比が最小値を下回っている。東日本から西日本にかけての太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、東日本日本海側で多かった。一方、北日本太平洋側では少なく、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

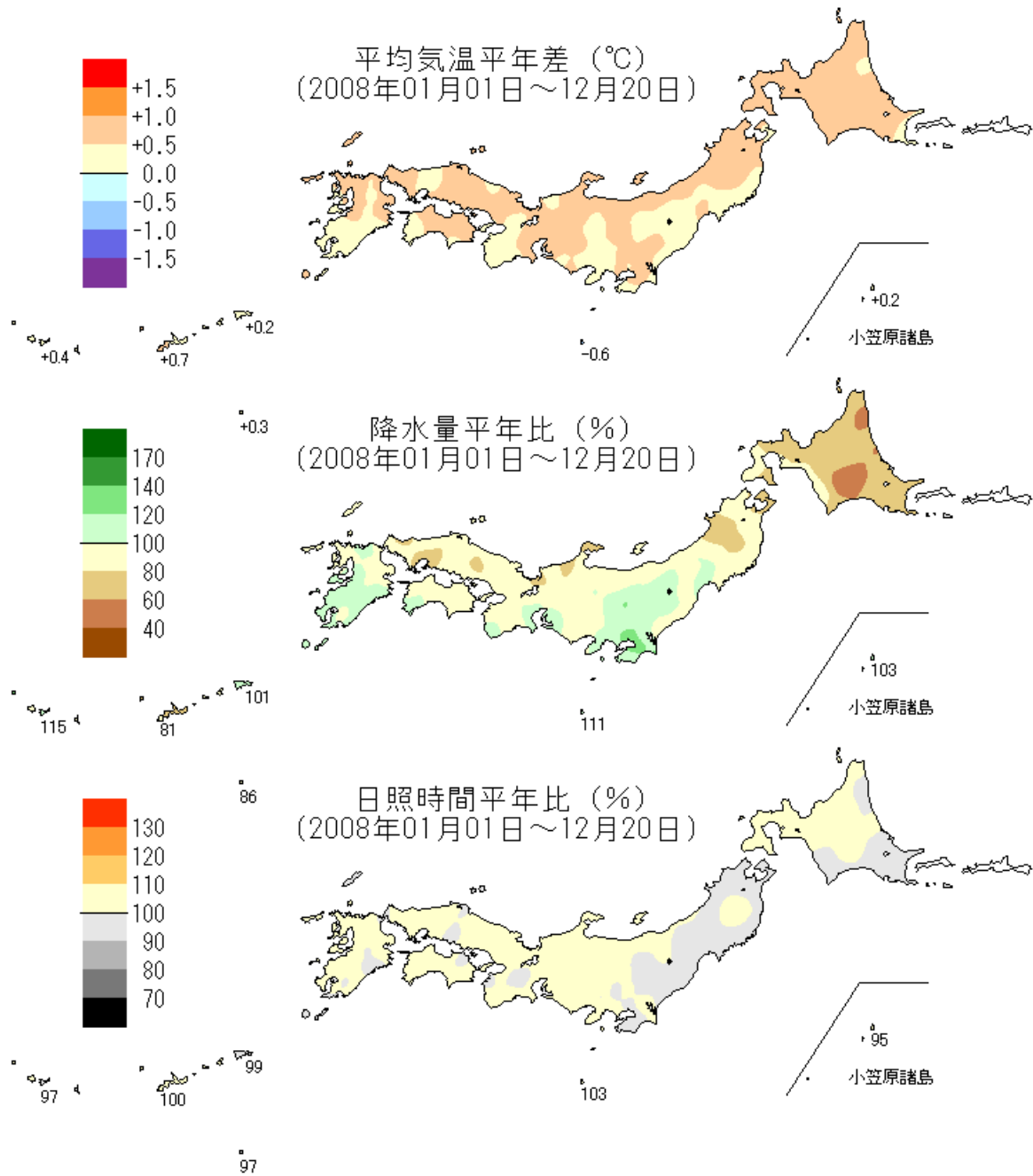
地域平均平年差（比）と階級（2008年）（12月20日までのデータによる）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		
北日本	0.6 (+)	81 (-)*	99 (0)	北海道	0.6 (+)	73 (-)*	101 (0)		
		日 80 (-)*	日 102 (0)			日 76 (-)*	日 104 (+)		
		太 81 (-)*	太 97 (-)			オ 63 (-)*	オ 99 (0)		
						太 74 (-)*	太 99 (0)		
東日本	0.6 (+)	99 (0)	102 (0)	東北	0.5 (+)	91 (-)	96 (-)		
		日 82 (-)*	日 105 (+)			日 91 (-)	日 98 (0)		
		太 103 (0)	太 101 (0)			太 91 (-)	太 95 (-)		
西日本	0.5 (+)	95 (0)	102 (+)	関東甲信	0.5 (+)	107 (+)	101 (0)		
		日 94 (-)	日 102 (0)			北陸	0.7 (+)	82 (-)*	105 (+)
		太 96 (0)	太 102 (0)					東海	0.6 (+)
沖縄・奄美	0.4 (+)	95 (0)	100 (0)	近畿	0.4 (+)	94 (0)	103 (+)		
						日 96 (0)	日 103 (+)		
						太 94 (0)	太 103 (+)		
				中国	0.6 (+)	84 (-)	101 (0)		
						陰 89 (-)	陰 101 (0)		
						陽 79 (-)	陽 102 (0)		
				四国	0.5 (+)	99 (0)	102 (0)		
				九州北部	0.6 (+)	95 (0)	102 (0)		
				九州南部 ・奄美	0.4 (+)	104 (0)	100 (0)		
						本 0.4 (+)	本 106 (0)	本 100 (0)	
				奄	0.4 (+)	奄 92 (0)	奄 101 (0)		
				沖縄	0.4 (+)	96 (0)	100 (0)		

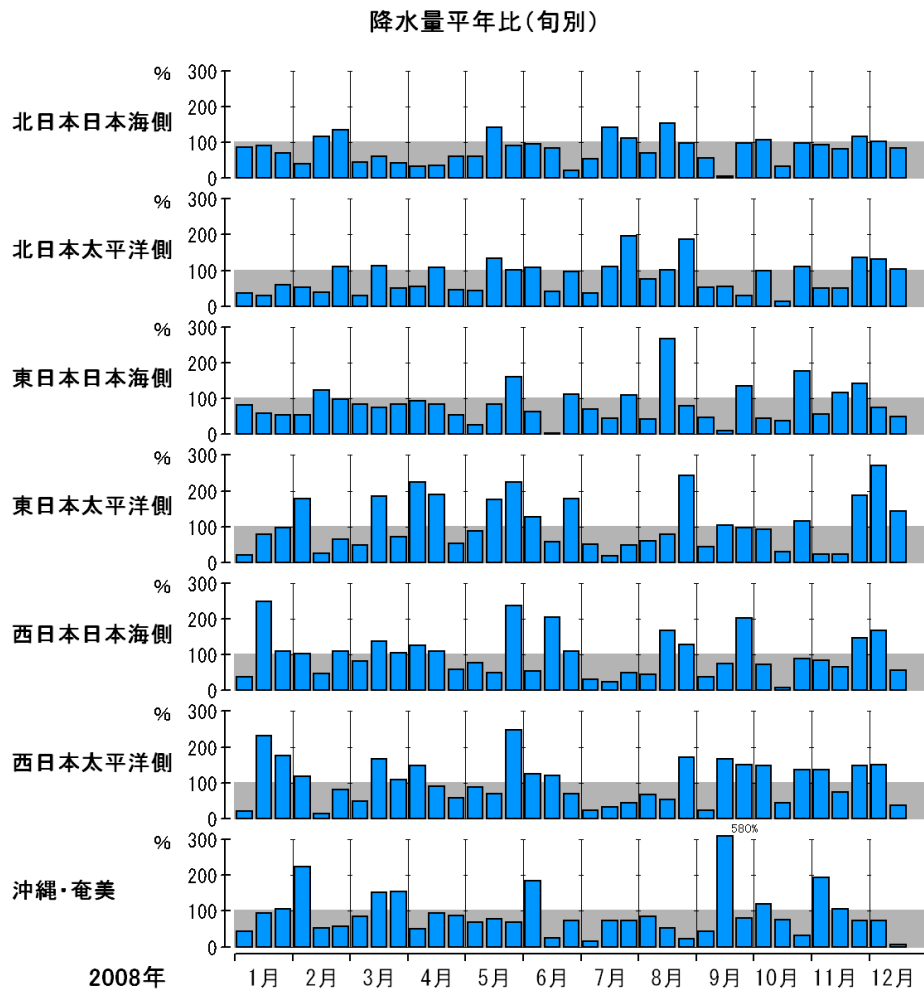
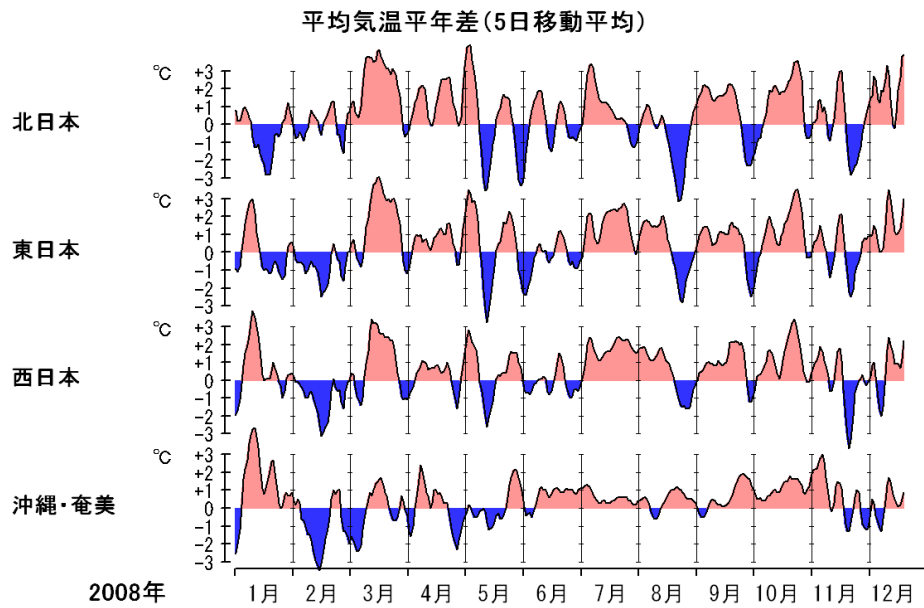
階級表示 - :低い(少ない) 0:平年並 +:高い(多い) 地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
*はかなり低い(少ない) かなり高い(多い)を表す オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の気象台・測候所等での観測値で、観測所数は153地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている112地点が対象である。
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1971~2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1971~2000年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

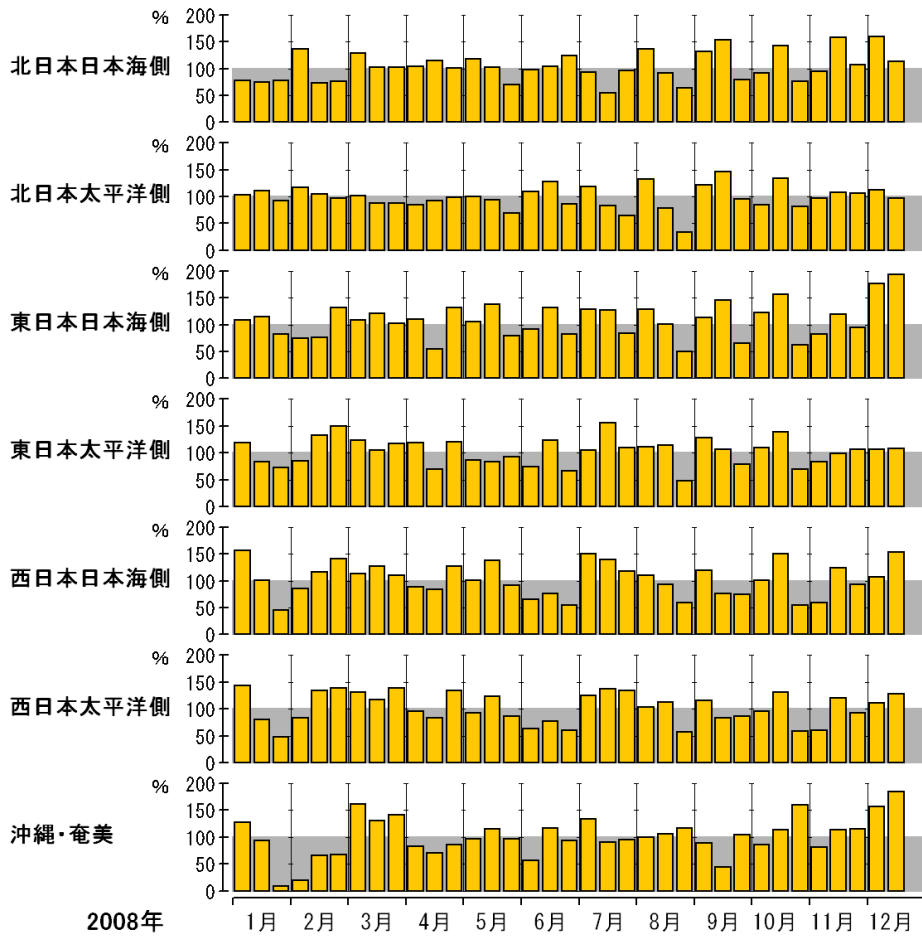
平年差（比）図（2008年）（12月20日までのデータによる）



地域平均平年差（比）の経過（12月20日までのデータによる）



日照時間平年比(旬別)



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）の更新地点数

- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載した

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	0	0	0	1	2	1	0	0
2月	0	0	1	1	11 東・西日本	2	1タイ	0
冬	0	0	0	1	1	0	0	
3月	16、4タイ 北・東日本	0	0	3	4	0	0	0
4月	0	0	4	6 北日本	0	0	0	0
5月	0	0	2	0	0	0		
春	1タイ	0	6 東日本	5 北日本	0	0		
6月	0	0	2	2	0	1		
7月	2タイ	0	0	4	0	0		
8月	0	0	0	2	1	0		
夏	0	0	0	1	0	0		
9月	0	0	1	5、1タイ 北日本	0	2		
10月	0	0	0	2	0	0		
11月	0	0	0	0	0	0	1	0
秋	0	0	1	7 北・西日本	0	2		
年(速報) (2008年)	0	0	0	6、1タイ	0	0	0	0

3 季節別の天候経過

冬（2007年12月～2008年2月）：

- 沖縄・奄美で高温、北・東・西日本では平年並
- 東日本日本海側、北日本で少雨、西日本では多雨
- 全国的に寡照
- 日本海側の降雪量は少ない

1月半ばまでは低気圧や高気圧が交互にとおり、天気は数日の周期で変わったが、1月後半から2月にかけては冬型の気圧配置が現われやすくなり、寒気が入るようになった。北日本から西日本にかけての冬（平成19年12月～平成20年2月）の平均気温は平年並であったが、冬前半の気温は平年を上回ることが、後半は平年を下回ることが多いなど寒暖の変動が大きかった。沖縄・奄美でも気温の変動が大きかったが、1月の高温が顕著であったことから冬の平均気温は高くなった。

冬前半を中心に、低気圧や前線が日本付近を数日の周期で通過したことから、全国的に曇りや雨または雪となり、西日本で冬の降水量が多くなったほか、全国的に日照時間が少なかった。日本付近を通過した後も低気圧はあまり発達しなかったことから、冬型の気圧配置とはなりにくく、東日本日本海側、北日本では降水量は少なかった。

2月中・下旬には、冬型の気圧配置にともなって日本海側の地方では降雪量が増えたが、2月上旬まで降雪量が少なかったことから、冬の降雪量は少なかった。

平均気温は、沖縄・奄美で高かったほかは、全国的に平年並だった。降水量は、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と東日本日本海側では少なかった。西日本では多く、東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。日照時間は、日本太平洋側と西日本日本海側で平年並のほかは少なかった。日本海側の降雪量は、北日本、東日本でかなり少なく、西日本で少なかった。

春（3～5月）：

- 北日本から西日本にかけて高温、特に北・東日本で顕著
- 北・東日本日本海側で顕著な少雨、東日本太平洋側では顕著な多雨
- 西日本太平洋側で顕著な多照

北・東日本では、5月中旬に寒気が南下し気温が低くなったが、その他の時期は寒気の影響を受けにくく、春の平均気温はかなり高くなった。特に、冬型の気圧配置になる日がほとんどなく、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった3月の高温が顕著であった。また、4月も寒気の南下がほとんどなく、北日本ではかなりの高温となった。北・東日本の春の降水量は、本州南岸を東進した低気圧の影響をしばしば受けた東日本太平洋側でかなり多く、1946年以降、春としては第2位の多雨となった。一方、低気圧や寒気の影響が小さかった北・東日本日本海側ではかなり少なく、北日本日本海側では1946年以降、春としては第2位の少雨となった。

西日本も寒気の影響を受けにくく、3か月続けて気温が高くなった。また、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、西日本太平洋側では日照時間がかなり多くなった。

平均気温は、北日本と東日本でかなり高く、西日本で高かった。降水量は、東日本太平洋側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。北日本から東日本にかけての日本海側ではかなり少なく、北日本太平洋側では少なかった。西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。日照時間は、西日本太平洋側でかなり多く、東日本から西日本にかけての日本海側で多かった。北日本太平洋側では少なく、その他は平年並だった。

夏（6～8月）：

- 天候の変動が大きい

○東日本、西日本、沖縄・奄美で高温

○北日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美で少雨

○各地で局地的な大雨がたびたび発生

北日本から西日本にかけては天候の変動が大きかった。東日本と西日本では、梅雨前線が日本列島南岸に停滞したため、6月は曇りや雨の日が多く、7月から8月前半にかけて、東日本と西日本では高気圧に覆われ、晴れて暑い日が多く、降水量も少なかった。このため、四国地方、中国地方を中心にダム取水制限等の対策がとられた。北日本では6月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、7月には低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。また、気温も、7月には高温、8月後半には低温となるなど変動が大きかった。

7月後半から8月前半はときどき大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となった。8月終わりには、日本付近に寒気が南下したことや、低気圧、前線の影響で、北日本から西日本にかけて、広い範囲で大雨となり、各地で局地的な豪雨となった（「平成20年8月末豪雨」）。このため、中国地方から東北地方にかけての広い範囲で河川のはん濫や家屋の浸水、土砂災害等大きな被害が発生した。

沖縄・奄美では、梅雨明け後は高気圧に覆われ、熱帯低気圧の影響も小さかったため、夏の平均気温は高く、降水量は少なかった。

台風の発生は7個（平年11.2個）、日本に接近した台風4個（平年6.2個）、うち本土（北海道、本州、四国、九州）への接近は1個（平年3.0個）、沖縄・奄美への接近は2個（平年4.2個）、上陸数は0個（平年1.5個）とそれぞれ平年を下回った。

平均気温は、北日本で平年並だったほかは、高かった。降水量は北日本日本海側、西日本太平洋側、沖縄・奄美で少なかったほかは、平年並だった。日照時間は、北日本太平洋側で少なかったほかは、平年並だった。

秋（9～11月）：

○全国的に高温、特に沖縄・奄美で顕著

○北・東日本で少雨、特に北日本で顕著

○沖縄・奄美で顕著な多雨

11月は寒暖の変動が大きかったものの、9月と10月に気温が高かったことから全国的に秋の平均気温は高かった。特に沖縄・奄美では、1946年以降秋としては第2位タイの高温となった。北日本では、高気圧に覆われ晴れる日が多かったため、秋の日照時間が多く、降水量がかなり少なかった。特に北日本太平洋側では、1946年以降秋としては第1位、北日本日本海側では第3位の少雨となった。低気圧や前線は本州の南岸をあまり発達せず通過することが多く、西日本太平洋側で日照時間が少なく、西日本日本海側と東日本太平洋側では降水量が少なかった。特に、九州では日照時間がかなり少なかった。

沖縄・奄美では前線や低気圧、台風の影響を受け、秋の日照時間は少なく、降水量はかなり多かった。特に、9月中旬の台風第13号の接近により、与那国島では日降水量765.0ミリを記録するなど記録的な大雨となった。

台風の発生数は平年より少ない9個（平年11.5個）、本土への接近数は2個（平年2.1個）、沖縄・奄美の接近数は2個（平年2.6個）、上陸数は0個（平年1.0個）だった。

平均気温は、全国的に高く、特に沖縄・奄美ではかなり高かった。降水量は、沖縄・奄美ではかなり多く、北日本、東日本では少なく、特に北日本では北海道を中心にかなり少なかった。西日本では平年並だった。日照時間は、北日本と東日本日本海側で多く、特に北日本日本海側でかなり多かった。西日本、沖縄・奄美では少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

4 全国気候表 2008年(12月20日までのデータによる)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
札幌	9.9	(+1.0)	743.5	(68)	113	1823.9	(104)
稚内	7.5	(+0.6)	762.5	(74)	128	1549.8	(104)
北見枝幸	6.7	(+0.6)	652.0	(55)	117	1526.4	(98)
旭川	7.6	(+0.5)	723.0	(69)	121	1673.5	(105)
留萌	8.6	(+0.7)	839.0	(73)	133	1637.4	(106)
羽幌	8.5	(+0.7)	924.0	(73)	146	1631.6	(102)
岩見沢	8.6	(+0.8)	845.5	(76)	130	1764.3	(102)
倶知安	7.8	(+0.7)	1157.0	(80)	157	1580.5	(109)
小樽	9.3	(+0.5)	820.0	(70)	132	1699.0	(104)
寿都	9.4	(+0.6)	884.0	(78)	130	1522.0	(104)
網走	7.2	(+0.6)	570.5	(73)	102	1802.1	(99)
紋別	7.1	(+0.6)	492.0	(60)	106	1696.9	(101)
雄武	6.3	(+0.5)	561.5	(64)	98	1668.4	(99)
釧路	7.0	(+0.7)	821.5	(79)	68	1877.7	(97)
根室	6.8	(+0.4)	728.0	(71)	73	1767.9	(97)
帯広	7.7	(+0.8)	459.5	(50)	67	1977.8	(101)
広尾	7.6	(+0.6)	1157.5	(67)	80	1724.6	(95)
室蘭	9.3	(+0.5)	997.5	(83)	107	1750.4	(102)
苫小牧	8.3	(+0.5)	1036.0	(85)	89	1709.4	(100)
浦河	8.6	(+0.5)	932.0	(86)	101	1814.4	(98)
函館	9.9	(+0.8)	840.5	(74)	105	1767.8	(101)
江差	10.8	(+0.7)	1104.5	(96)	131	1478.0	(101)
青森	11.1	(+0.7)	998.0	(80)	138	1626.3	(98)
深浦	11.5	(+0.6)	1285.0	(89)	130	1461.4	(97)
むつ	10.1	(+0.4)	919.0	(72)	121	1499.1	(90)
八戸	10.8	(+0.5)	867.0	(88)	105	1878.3	(100)
秋田	12.7	(+1.0)	1205.0	(72)	139	1583.6	(100)
盛岡	11.0	(+0.6)	983.5	(79)	113	1745.3	(102)
大船渡	11.8	(+0.4)	1389.0	(92)	97	1646.0	(92)
宮古	10.9	(+0.1)	1092.5	(84)	77	1809.5	(97)
仙台	13.0	(+0.5)	1328.5	(108)	97	1662.7	(93)
石巻	12.1	(+0.4)	1013.0	(96)	85	1763.3	(91)
山形	12.3	(+0.5)	1069.0	(97)	127	1591.3	(98)
新庄	11.3	(+0.5)	1785.0	(100)	163	1259.3	(94)
酒田	13.4	(+0.8)	1535.0	(85)	162	1588.1	(101)
福島	13.5	(+0.4)	1048.5	(96)	101	1622.3	(93)
若松	12.2	(+0.4)	1237.0	(112)	138	1626.2	(101)
白河	12.1	(+0.5)	1455.0	(107)	119	1685.5	(94)
小名浜	13.9	(+0.5)	1260.0	(92)	104	1898.7	(95)
水戸	14.2	(+0.5)	1172.0	(89)	100	1821.2	(100)
館野(つくば)	14.4	(+0.6)	1364.0	(111)	97	1809.5	(102)
宇都宮	14.6	(+0.9)	1594.5	(111)	118	1805.5	(96)
日光	7.1	(0.0)	2096.5	(100)	134	1625.4	(93)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
前橋	15.2	(+0.6)	1425.0	(123)	112	2020.0	(102)
熊谷	15.7	(+0.8)	1382.5	(111)	105	1964.4	(101)
秩父	13.6)	(+0.4)	1317.5	(104)	98	1802.3)	(99)
東京	16.7	(+0.5)	1848.5	(127)	114	1776.3	(99)
大島	16.5	(+0.5)	3101.5	(110)	114	1809.2	(104)
三宅島	18.0	(+0.2)	2595.5	(91)	128	1655.8)	(99)
八丈島	17.9	(-0.6)	3421.5	(111)	152	1520.1)	(103)
父島	23.4	(+0.2)	1280.0	(103)	110	1925.1	(95)
千葉	16.3	(+0.6)	1637.5	(127)	118	1792.6)	(99)
銚子	15.9	(+0.4)	1876.0	(120)	114	1897.1	(100)
館山	16.3	(+0.3)	1857.0	(107)	101	1837.9	(97)
勝浦	16.2	(+0.4)	2093.0	(111)	116	1850.0	(98)
横浜	16.4	(+0.6)	1919.0	(119)	110	1877.9)	(101)
長野	12.6	(+0.6)	814.5	(91)	102	1971.9	(106)
松本	12.2	(+0.4)	1028.0	(101)	90	2154.5)	(105)
諏訪	11.5	(+0.4)	1248.5)	(96)	102)	2117.3)	(103)
軽井沢	8.8	(+0.5)	1253.0	(105)	109	1882.7)	(103)
飯田	13.3	(+0.5)	1511.0	(95)	108	2033.8)	(105)
甲府	15.1	(+0.5)	1095.5	(99)	95	2142.5	(104)
河口湖	10.9	(+0.3)	1513.0)	(100)	99)	1841.2)	(99)
静岡	17.0	(+0.4)	1955.5	(85)	103	2028.7)	(103)
浜松	16.8	(+0.5)	1869.5	(100)	103	2227.3	(106)
御前崎	17.0	(+0.6)	1758.0)	(85)	102)	2207.1)	(103)
三島	16.4	(+0.5)	1837.0)	(99)	106)	1914.9)	(103)
石廊崎	17.1	(+0.4)	1792.0	(99)	96	2109.7)	(103)
網代	16.4	(+0.3)	2216.5	(118)	101	1749.9)	(101)
名古屋	16.7	(+1.0)	1578.0	(101)	93	2072.9)	(104)
伊良湖	16.6	(+0.6)	1806.0)	(112)	104)	2164.7)	(100)
岐阜	16.5	(+0.7)	1620.5	(85)	101	2087.8)	(102)
高山	11.8)	(+0.8)	1379.5)	(81)	133)	1614.7)	(101)
津	16.6	(+0.8)	1702.5	(104)	101	2045.9	(104)
上野	14.9	(+0.8)	1391.5)	(101)	109)	1566.4)	(94)
尾鷲	16.5	(+0.4)	3594.5	(92)	126	1913.4	(103)
四日市	15.3	(+0.4)	1801.5)	(103)	107)	1965.4	(103)
新潟	14.6	(+0.8)	1448.5	(84)	150	1708.3)	(104)
川	14.7	(+0.8)	1227.5)	(84)	129)	1713.6)	(104)
高田	14.4)	(+0.7)	2137.5)	(81)	167)	1623.1)	(103)
富山	14.9	(+0.9)	1925.0	(89)	154	1675.4)	(106)
伏木	14.5	(+0.5)	1960.0	(93)	157	1696.1)	(106)
金沢	15.2	(+0.6)	1745.5	(73)	156	1757.2	(107)
輪島	14.2	(+0.7)	1490.0	(72)	151	1627.9)	(104)

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
福井	15.1	(+0.5)	1868.5	(86)	149	1685.4	(106)
	敦賀	15.9	(+0.6)	1551.5	(73)	142	1605.5
彦根	15.3	(+0.6)	1416.0	(89)	125	1868.3	(104)
京都	16.4	(+0.4)	1406.5	(92)	111	1769.8	(104)
	舞鶴	15.2	(+0.6)	1738.5	(99)	158	1552.6
大阪	17.3	(+0.4)	1234.5	(95)	106	1983.4	(103)
神戸	17.3	(+0.5)	1038.0	(83)	100	2068.2	(108)
	豊岡	14.9	(+0.5)	1927.5	(100)	159	1504.9
姫路	15.9	(+0.7)	1011.0	(82)	104	2017.4	(105)
	洲本	15.8	(+0.2)	1421.5	(98)	99	2039.3
奈良	15.2)	(+0.3)	1288.5	(97)	109	1743.0)	(97)
和歌山	17.0	(+0.3)	1244.5	(94)	105	2006.2)	(99)
	潮岬	17.5	(+0.2)	2689.0	(107)	124	2205.2)
岡山	16.9	(+0.8)	943.0	(83)	91	1976.7	(101)
	津山	14.5	(+0.8)	1101.5)	(75)	112)	1773.2)
広島	16.7	(+0.3)	1138.5	(74)	90	2059.3	(105)
	呉	16.8)	(+0.6)	1057.5)	(74)	77)	2080.5)
福山	16.1	(+0.8)	1017.5	(88)	92	2008.6)	(99)
松江	15.5	(+0.6)	1413.5	(80)	145	1716.0	(100)
	西郷	15.0	(+0.7)	1420.5	(83)	134	1746.2)
浜田	16.0	(+0.5)	1522.5	(91)	125	1790.8	(104)
鳥取	15.4	(+0.5)	1802.5	(97)	156	1713.2	(104)
	米子	15.5)	(+0.5)	1646.5	(94)	140	1750.8)
境	15.7	(+0.5)	1669.0	(90)	145	1700.4	(98)
徳島	17.1	(+0.6)	1444.0	(94)	104	2085.4	(105)
高松	17.1	(+1.0)	1073.5	(96)	100	1976.6)	(97)
	多度津	16.8	(+0.5)	970.5	(89)	95	2076.0
松山	17.0	(+0.6)	1295.5	(100)	103	2040.3	(106)
	宇和島	17.0	(+0.2)	1564.0	(95)	111	1883.9
高知	17.7)	(+0.8)	2230.5	(85)	116	2123.0	(103)
	宿毛	17.3	(+0.4)	2170.5	(110)	119	2048.1
清水	18.5	(+0.3)	2904.0	(121)	125	2135.3)	(99)
	室戸岬	17.1	(+0.4)	2316.5	(99)	133	2174.4)
山口	16.1	(+0.7)	1668.5	(89)	113	1922.4	(103)
	下関	17.3	(+0.8)	1408.5	(84)	102	1824.3)
萩	16.1	(+0.5)	1248.0	(74)	119	1756.5)	(103)
福岡	17.5	(+0.6)	1750.5	(108)	111	1809.6)	(100)
	飯塚	16.2	(+0.5)	1825.5	(102)	114	1805.5

地点名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)
大分	17.1	(+0.8)	1643.5	(98)	98	1992.9	(105)
日田	15.9	(+0.5)	1686.5	(92)	117	1741.7	(102)
長崎	17.6	(+0.4)	1767.5	(91)	100	1851.3	(101)
厳原	16.3	(+0.5)	1889.0	(89)	106	1806.2	(99)
平戸	16.7	(+0.6)	1949.0	(92)	109	1763.7	(100)
佐世保	17.5	(+0.5)	1670.0	(86)	108	1914.9	(104)
福江	17.4	(+0.6)	1988.5	(85)	120	1726.7	(102)
佐賀	17.1	(+0.6)	1790.5	(95)	95	1957.7	(106)
熊本	17.5	(+0.7)	2299.0	(116)	106	1991.0	(104)
阿蘇山	10.4	(+0.5)	3162.5	(98)	140	1475.1	(99)
人吉	16.0	(+0.5)	2702.0	(113)	126	1775.4	(101)
牛深	18.3	(+0.3)	2208.0	(110)	114	1910.8	(101)
宮崎	17.7	(+0.2)	2789.5	(114)	126	2073.3	(101)
延岡	17.0	(+0.4)	2512.5	(109)	110	2028.6	(98)
都城	16.9	(+0.5)	2300.5	(94)	128	1902.6	(100)
油津	18.5	(+0.4)	2677.0	(104)	125	1921.7	(101)
鹿児島	19.0	(+0.5)	2341.5	(104)	111	1929.4	(103)
阿久根	17.8	(+0.6)	2154.5	(102)	106	1911.4	(101)
枕崎	18.3	(+0.2)	2401.5	(114)	119	1899.9	(102)
屋久島	19.9	(+0.5)	4688.0	(109)	148	1483.0	(100)
種子島	20.0	(+0.2)	2468.0	(107)	119	1723.0	(94)
名瀬	21.9	(+0.2)	2880.0	(101)	150	1358.1	(99)
沖永良部	22.9	(+0.5)	1598.5	(82)	113	1873.6	(102)
那覇	23.6	(+0.7)	1614.5	(81)	112	1793.7	(100)
名護	23.0	(+0.4)	1393.5	(66)	123	1820.0	(106)
久米島	23.4	(+0.5)	1532.0	(73)	120	1768.4	(103)
宮古島	23.9	(+0.4)	1734.0	(88)	123	1735.9	(100)
石垣島	24.6	(+0.4)	2323.0	(115)	114	1764.1	(97)
西表島	23.8	(+0.2)	1940.0	(85)	136	1664.4	(110)
与那国島	24.0	(+0.2)	2839.5	(124)	125	1562.9	(100)
南大東島	23.5	(+0.3)	1380.0	(86)	110	1985.0	(97)

- (注) 1. これらは12月20日までの観測値を使った集計結果である。
2. 値の横に) や] がある場合には、統計値を求める際に使用したデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれていることを示す。) 付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。] 付きの値(資料不足値)については、許容範囲を超えた資料が欠けているので注意されたい。
3. 平年差(比)は同期間の日別平年値を平均・合計したものに対する差(比)である。

5 平年差（比）が観測史上1位を上回っている地点

(12月20日までのデータによる)

過去の記録と同値は「=」で表す。

年平均気温の平年差が最高値を上回っている地点

なし

年平均気温の平年差が最低値を下回っている地点

なし

年降水量の平年比が最大値を上回っている地点

なし

年降水量の平年比が最小値を下回っている地点

地点名	2008年(12月20日まで)			これまでの最大 平年比(西暦年)	開始年
	平年比 %	値 mm	平年値* mm		
北見枝幸	55	652.0	1180.7	67 (2007)	1943
雄武	64	561.5	878.2	67 (1984)	1943
帯広	50	459.5	912.9	59 (1900)	1894
紋別	60	492.0)	822.7	64 (1984)	1956
むつ	72	919.0)	1272.2	76 (1984)	1935
秋田	72=	1205.0	1666.2	72 (1994)	1886
輪島	72	1490.0	2080.1	73 (1994)	1930

年日照時間の平年比が最大値を上回っている地点

なし

年日照時間の平年比が最小値を下回っている地点

なし

(注) これらは12月20日までの観測値を使った集計結果であるので、年末までのデータを加えた確定値では変わる可能性がある。

値の横に) や] がある場合には、統計値を求める際に使用したデータに欠測等統計に用いなかった値が含まれていることを示す。) 付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。] 付きの値(資料不足値)については、順位は極値順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては注意されたい。

平年値(*)は日別平年値を平均・合計したものである。

平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。